

# 終盤の壮絶な争い巧みに

豊臣秀吉没後の覇権を狙う徳川家康たちが争った関ヶ原の戦いは、慶長5年(1600)9月15日に本戦があった。結果は家康が率いた東軍が勝利を収め、その後の日本の

統治を方向づけた。印象的な伝承 関ヶ原の戦いを主題とした絵画は、絵巻物や屏風などいくつも現存する。その中でも古くに描かれ、よく知られたのがこの作品であろう。この屏風は家康の手にあつたとされ、それを家康養女の満天姫が弘前藩主の津軽家に嫁ぐ際、この屏風を持参したいとの申し出を受けた家康は大いに難色を示した。しかし涙



国宝・重要文化財

を流して懇願する満天姫の願いを受け入れてしばらく「預け置く」ことにした、と『津軽藩日記』には記される。事の真偽は不明だが、本作品にはこのような印象的な伝承が付随する。画面に目を向けると、向かって右側の屏風(右隻)には、大垣城包圍などの前哨戦、関ヶ原へと向かう家康とその軍列、家康や東軍諸将の陣が描かれる。対になる左隻には燃え落ちる西軍諸将の

## 怒りのひとこと

### 情報漏洩リスク 責任負えない

個人情報の宝庫マイナンバーカードを医療機関で扱うことへの不安の声が寄せられている。協会が取り組む義務化撤回署名の「私の一言」を紹介する。

#### 義務化撤回署名にご協力ください

#### 署名はコチラから

WEB



ファクス

※協会 (TEL06-6568-7731) にお問い合わせください。署名用紙をお送りします。(10/14にファクス送信)



東大阪

今の日本でマイナンバーカードを無理に持たせる意味が理解できない



泉大津

カードへまとめて (all in one) は事故の元です。断じて私は採用しません



大阪府城東区

マイナンバーと医療情報を結びつける必要性はない。そもそも医療機関等における情報交換は保険情報だけでわかるもの出来るはず。様々な負担を医療機関に押しつけるこのシステム導入には断固反対する。マイナンバーと保険証をつなぐ必要なし



大阪府城東区

個人情報漏洩への危惧のため、反対します



堺

セキュリティーが心配です

## 紙本金地著色関ヶ原合戦図屏風

(重要文化財)



紙本金地著色関ヶ原合戦図屏風 (左隻) (重要文化財) 17世紀 各隻 縦194.1cm 横590.0cm 大阪歴史博物館蔵 (前田善衛氏寄贈)

世界の紛争がリアルタイムの映像で茶の間に届く今日、戦争無経験のほとんどの日本人もこれま



## プーチンの顔色

篠部正夫 (西淀川区)

連日テレビに映るプーチンの顔を見れば、すぐに血圧上昇を思いつくだろう。無理もない。ワルシャワ条約機構は解体したのに、NATO加盟国はけろりとしてロシアとの国境線上でも今もにらみをきかしている。「計られた」というロシア人の国民感情をプーチンは担っているつもりなのだ。ウクライナへの侵攻でプーチンは国際世論上で一人悪役を演じているように見える。だが、それは観客を気にして、ちょこまかと動く日本の岸田総理の動きからそう見えるのであって、インドや中国など実態を静観している国は少なくない。日本はアメリカの従順なべ

## 談話室 たんわ室

の経過から学んで「お願い外交」で北方領土が変換されることは思うまい。それどころか日本の反プーチンの姿勢を根に持ったロシアが知床半島の西海岸から北海道へ侵攻しかねない。

無論日本の自衛隊もそれらは想定内で対応の準備訓練をしているはずだ。古来純情と誠意だけの国は地球上にそう長くは存在できなかった。本音と建前の二本立ては国家と国民の暗黙の約束である。近代戦争の殺傷効率は桁外れで、このような気楽な空論を許すものではない。しかも事態は切迫して次世代を待たず急変しかねない。

人道主義から政治体制の変革まで、あらゆる手段と英敏を根気よく総動員して対処すべきだろう。

近畿厚生局は医療機関の管理者や医療安全担当者らを対象に「医療安全セミナー」を11月17日にオンラインで開く。ただし、施設基準の研修要件には該当しない。

申し込みは近畿厚生局ホームページの専用サイトから。申し込み締め切りは11月10日。問い合わせは近畿厚生局健康福祉部医事課 (TEL06-6942-2492) まで。

厚労省は毎年11月25日を含む1週間を「医療安全推進週間」と位置付け、普及啓発活動に取り組んでいる。同セミナーは推進週間の一環で、近畿厚生局は医療従事者の参加を促している。

2千人多様に 戦いの主人公である武士はもとより、荷役の人夫や街道を行き来する庶民にいたるまで、2000人以上ともいわれる多様な人物の巧みな表現も見どころとなる。西軍が籠る大垣城に対峙するかのよう描かれた諸将の旗が林立する東軍の陣、燃え盛る西軍諸将の陣に

対して配される雄大な伊吹山などの構図も絶妙である。優れた腕前を見せるこの屏風の作者は、禁裏や大名らに重用された土佐光吉に連なる絵師とされる。 本作品は、三重県出身で大阪において事業を営んでいた前田維氏が収集され、ご子孫により大阪歴史博物館の前身・大阪市立博物館へ寄贈された作品のひとつである。氏のコレクションを代表する名品である。(岩佐伸一・大阪歴史博物館)

参加ご希望の方は、必ず事前にお申し込み下さい。M&Dホールは保険医会館東隣りです。

## 協会行事案内

お申し込みは右のQRコードから協会行事予定の「お申込み」へ



<p><b>三島地区講習会</b></p> <p>日時 10月29日(土) 午後7時~9時</p> <p>会場 高槻市生涯学習センター3階研修室</p> <p>講師 楠尊行氏</p> <p>会費 会員・スタッフ無料</p> <p>定員 30人</p>	<p><b>女性医師・歯科医師の会 医科歯科連携交流会</b></p> <p><b>在宅医療における医科歯科連携を学ぶ</b></p> <p>日時 11月5日(土) 午後3時~5時</p> <p>会場 M&amp;Dホール(保険医会館東隣り) 十ウエビナー</p> <p>話題提供 黒川渡氏(くろかわ診療所院長) 戸井逸美氏(たいししょう生協診療所歯科勤務)</p> <p>会費 無料</p> <p>定員 30人+ウエビナー</p> <p>申込 下のQRコードからお願いします</p>	<p><b>歯初診の施設基準に係る研修会</b></p> <p>日時 11月16日(水) 午後7時~7時半</p> <p>会場 M&amp;Dホール(定員80人)</p> <p>東大阪文化創造館2階(定員50人)</p> <p>※東大阪はM&amp;Dホールの映像を視聴</p> <p>講師 社保研究部講師団</p> <p>会費 千円</p> <p>持参物 『絵で見る色でわかる歯科の院内感染防止対策』</p> <p>※遅刻・早退されると修了証は発行できません</p>	<p><b>11月度生涯研修</b></p> <p><b>口腔粘膜疾患診断のポイント</b></p> <p>日時 11月20日(日) 午前10時~午後1時</p> <p>会場 M&amp;Dホール</p> <p>講師 小川美英氏(市立池田病院歯科口腔外科副部長)</p> <p>会費 3千円、未入会者1万円</p> <p>定員 80人</p>	<p><b>未入会者とは、会員院所に勤める未入会勤務医です</b></p> <p>※協会行事などを本紙等で報道・紹介するため、講習会などの写真で個人が特定されることがありますが、趣旨をご理解の上、ご了承ください。また、講習会でのビデオ撮影や録音はお断りします。</p>
---	--	--	---	--